

医 療 安 全

【単位数：1単位，授業 13 コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】

当該科目は医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

1 科目責任者

奥村将年 教授（特任）（医療安全管理室）

2 教育目標

（１）ねらい（Ⅰ-11-b，Ⅰ-12-b，Ⅰ-13-b，Ⅰ-14-b，Ⅰ-15-b，Ⅱ-3-b，Ⅱ-4-b）

- ① 安全な医療を提供するための基本原則を理解し，医療チームの一員として医療の質改善を推進できるようにする。
- ② 医療に携わるからには必ず身につけなければならない医療安全の知識を得る。

（２）学修目標

- ① 今日の医療において，医療安全が最優先される概念であることを理解する。
- ② 過去の医療事故や医療過誤等を学び，これらが日常的に起こる可能性があることを認識するとともに，防止策を考案して対応する必要があることを理解する。
- ③ エラーが起きるメカニズムについて理解する。
- ④ チームで取り組むことの重要性，チーム形成の方法を説明できる。
- ⑤ 医療事故調整制度，医療に関わる法について説明できる。
- ⑥ 対人関係スキルがもたらす医療トラブルの影響について説明できる。

3 成績の判定・評価

（１）総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択問題で評価する。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（２）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（３）再試験・再評価の方法

定期試験で60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60%以上で合格）。

（４）課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学年メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
改訂第2版 医療安全管理実務者標準テキスト	一般社団法人日本臨床医学リスクマネジメント学会	へるす出版	医療安全を学ぶに必要なことがわかりやすく幅広く網羅されている。
ねころんで読める WHO 患者安全カリキュラムガイド（医療安全 BOOKS）	相馬孝博	メディカ出版	初めはここから。わかりやすい。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
WHO 患者安全カリキュラムガイド：多職種版 （AIDLE-K からダウンロード）	世界保健機関(WHO)	東京医科大学	世界標準の患者安全に関してわかりやすく解説されている。
世界患者安全行動計画 2021-2030 医療における回避可能な害をなくすために （AIDLE-K からダウンロード）	世界保健機関(WHO)	世界保健機関(WHO)	現在、世界が進んでいる患者安全の方向が記載されている。
患者安全・医療安全 実践ハンドブック	医療安全全国共同行動技術支援部会	メディカルサイエンスインターナショナル	日本における医療安全に関するスタンダードが記載されている。
ワシントンマニュアル 患者安全と医療の質改善	加藤良太郎 /本田仁 監訳	メディカルサイエンスインターナショナル	これさえ持っておけばいつか役立つ。
人は誰でも間違える	医学ジャーナリスト協会	日本評論社	名著。
失敗の科学	マシユー・サイド	ディスカヴァー・トゥエンティワン	失敗についての視点が変わる。
医療安全用語集 第1版 （AIDLE-K からダウンロード）	日本医療安全学会/医療の質・安全学会	日本医療安全学会/医療の質・安全学会	共通言語の理解は重要。

6 準備学習（予習・復習）

- 教科書として推奨する「医療安全管理実務者標準テキスト」の総論第1, 2, 4, 7, 9章を読み、医療安全の概略について理解しておく（1コマあたり1時間）。
- 医療安全研修eラーニングツール「SafetyPlus」を視聴し、事例から見た医療安全の実際を理解しておく（1コマあたり0.5時間）。

7 授業計画

(1) 講義の方法

原則として大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中には質疑応答などのアクティブ・ラーニングを取り入れる。

(2) 講義の内容

1コマ目に医療安全に関する概論を解説し、2コマ目以降は医療安全学の各論と各種医療職による臨床に即した講義を実施する。